

025	すいか(大型トンネル)
-----	-------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	すいか(大型トンネル)20a、すいか(前進中型トンネル)50a、すいか(ハウス)60a、シンテッポウユリ(抑制)12、ストック48a、ブロッコリー50a
自家労働	3人
その他	共同選果場を利用

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		△◎————□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
農具舎	木・瓦	50 m ²	3,150,000	8	262,500	262,500	15	17,500	8	122,500	100	4,900
トラクタ	4WD 25ps	1台	2,870,640	8	239,220	239,220	7	34,174	4	102,523	100	4,101
ロータリ	160cm	1台	475,200	8	39,600	39,600	7	5,657	4	16,971	100	679
土壌消毒機	4条	1台	475,200	8	39,600	39,600	7	5,657	4	16,971	100	679
管理機	6.3ps	1台	298,000	8	24,833	24,833	7	3,548	4	10,643	100	426
動力噴霧機	可搬式6.3ps	1台	281,880	8	23,490	23,490	7	3,356	4	10,067	100	403
プロトキャスト		1台	216,000	19	41,256	41,256	7	5,894	4	17,681	100	707
運搬車	クローラ式4.2ps	1台	308,880	8	25,740	25,740	7	3,677	4	11,031	100	441
マルチはぎとり機		1台	189,000	15	29,106	29,106	7	4,158	4	12,474	100	499
普通トラック	1.5t	1台	2,230,000	8	185,833	185,833	5	37,167	3	74,333	100	2,973
軽トラック	660cc	1台	1,050,000	8	87,500	87,500	4	21,875	2	43,750	100	1,750
合計			11,579,300		1,001,553	1,001,553		143,073		440,177		17,607

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
すいか	筑波の香	大型トンネル	5,440kg	黒ぼく畑	20a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準		10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 人 員	延労働 時 間	
土 壤 消 毒	12/中	DD	20%	トラクタ ロータリ 土壤消毒機	○土壤病害、センチュウ害の多い場合に処理する。	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.5	軽油 6.5 軽油 6.5
土壤改良資材 施用	2/中	発酵堆肥 セルカフレンド	4 t 140kg	トラクタ ロータリ	○改良資材を施用し、ガス抜きを兼ねて丁寧に耕うんする。	1.0	2.0	5.0	軽油 6.5
基 肥 施 用	2/下	MS 8 8 5 がいな有機 ダイアジ ノン粒剤	30kg 80kg 4~6kg	トラクタ ロータリ	○基肥を施用し、耕うんする。 ○有機物の投入が多い場合は、ダイアジ ノン粒剤を定植部分1m幅に土壤混和す る。	1.0	2.0	3.0	軽油 6.5
整地・畦たて 除草剤施用 マルチ・トン ネル	3/上	クレマート乳剤 灌水チューブ 古トンネルビニール トンネル支柱 トンネルビニール らせん杭 バンド 針金	200cc 300m 300m 396本 300m 132本 3巻き	管理機 動力噴霧機	○畦の中央を高くして、カマボコ型に 整地する。除草剤散布する。 ○トンネル幅の中央付近に灌水チューブ を設置する。 ○床が湿った状態でマルチ、トンネル支 柱を立て、トンネル被覆を行い地温を 確保する。	2.0 1.0 2.0	2.0 1.0 2.0	6.0 2.0 2.0 12.0	ガソリン 2.0
定 植	3/中	西瓜苗 ダイヤキャップ アクタラ粒剤 5	380本 380枚 760g	軽トラック	○地温を確認後、植穴を切り、苗を植 え付け、ダイヤキャップを活着まで かける。	1.0	3.0	10.0	ガソリン 2.2
整枝・つる配置	3/下~4/中				○良くそろったつるを4本残す。草勢 を見ながら18節前後の雌花までに 2~3回つるの整理と配置を行う。 18節前後の雌花がつる先に見えた 頃に最終のつる引きを行う。		2.0 2.0 2.0	12.0 12.0 8.0	
換 気	3/下~6/上			軽トラック	○子づるが10cm程度伸びた頃より花 芽分化するので高温にならないよう に換気する。 ○交配までは日中の換気によりじっく り生育させる。 ○交配前後は保温に努め、着果・果実 肥大を進める。 ○肥大中期以降、草勢低下につながる 蒸し込みにならない温度管理を行う。 ○着果節位は草勢が整えば18節前後 で着果させる。 ○ミツバチと人工交配を併用する。 ○交配日がわかるように、クレパスな どで色分けを行う。		1.0	21.0	
交 配	4/下~5/上	交配用ミツバチ クレパス	6箱 10本				2.0	9.0	
摘果・玉直し シート敷き	5/中~5/下	シート	760枚		○果実が鶏卵大になった頃、形の良い そろったものを1株当たり2果残す。 ○交配後2~3週目頃にシートを敷く。		2.0	18.0	
灌 水	5/中			灌水装置	○着果後、肥大期に灌水を行う。 ○収穫20日前頃には灌水は控える。		1.0	2.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
防 除	4/上～6/中	ベルコート水和剤 チェス顆粒水和剤 カクストライフロアブル ジマンダイセン水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ダコニール1000 ウララDF バロックフロアブル ポリベリン水和剤 カスケード乳剤 トリフミン水和剤 ハチハチフロアブル フェニックス顆粒水和剤 展着剤アグラール	300g 30g 300g 750g 100g 250g 125g 125g 250g 62g 50g 250g 125g 125cc	動力噴霧機 軽トラック	○病害は予防散布、害虫は発生初期の防除に重点を置いた散布を行う。	12.0	2.0	16.0	ガソリン 12.0
収 穫	6/下～7/上			運搬車 軽トラック 普通トラック	○交配後48～50日前後を目安に検査をして収穫する。	2.5 2.5	3.0	38.0	ガソリン 5.0 ガソリン 5.0
後片づけ	7/下			軽トラック	○茎葉は収穫終了後、早めに抜き取り乾燥して焼却などして処分する。	2.0	3.0	20.0	ガソリン 2.0
合 計									198.5

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	995,520	生産量①： 5,440 kg 単価②： 183 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	995,520		
生産原価	種 苗 費	64,030		
	肥 料 費	34,427	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	32,242	〃	
	諸 材 料 費	175,996	〃	
	動力光熱費	9,191		
	農 具 費	15,252	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,312	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	5,184		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	14,040		
	減価償却費⑤	71,537	別表のとおり	
	土地改良費	3,542		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	426,753		
費	販売費一般	出荷資材費	50,980	
	管理費	販 売 諸 費	226,046	
		諸税負担金	3,463	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,353	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	0	借入資本利子率2%
		小計 (C)	282,842	
経 営 費 (D)	709,594	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	241,670	農 従 労 働 時 間： 182.9 生産管理労働時間 3.0 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	951,264	主産物単位当たり 175 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	17,595	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	8,804	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	4,392			
全算入生産費 (H)	982,054	生産物単位当たり 181 円/kg 注 (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	285,926	時間当たり 1,538 円 注 (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	29	注 (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	13,466	注 (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	255,136	時間当たり 1,372 円 注 (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	44,256	注 (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
土壌消毒																																			2.5		2.5	
土壌改良資材施用					5.0																																5.0	
基肥施用						3.0																															3.0	
整地・畦作り								10.0																													10.0	
除草剤施用、マルチ・トンネル張り								12.0																													12.0	
定植								10.0																													10.0	
整枝・つる配置									12.0	12.0	8.0																										32.0	
換気									2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0																					21.0	
交配											4.0	5.0																									9.0	
摘果・玉直し・シート敷き														9.0	9.0																						18.0	
灌水														2.0																							2.0	
防除									4.0		4.0		4.0			4.0																					16.0	
収穫																	28.0	10.0																			38.0	
後片づけ																					20.0																20.0	
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
																																						0.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0	22.0	10.0	14.0	19.0	11.0	11.0	8.0	18.0	11.0	2.0	4.0	28.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	198.5	

生産管理労働時間

(3.0)